

鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成29年3月

食用として導入されました。鹿児島県では緊急防除種に指定され、奄美群島で確認されています。固有陸産貝類との競合や野菜などの農作物への被害、寄生虫の感染(広東住血線虫)が確認されています。現在、奄美群島以外には定着していないと考えられています。もし、奄美群島以外で見かけたら、国の植物防疫所、病害虫防除所、各市町村に連絡して下さい。

1 基本情報

分類

目・科名	柄眼目アフリカマイマイ科	
種名(亜種名)	アフリカマイマイ	
学名	<i>Achatina fulica</i>	
環境省カテゴリー	重点対策外来種	
県カテゴリー	緊急防除種	
由来	国外由来外来種	
侵略的外来種番付表	関脇(島嶼)	
番付表掲載の理由	県内の生態系等に大きな影響を与える又は与えるおそれのある外来種	
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的外来種ワースト100)	世界の侵略的外来種ワースト100 日本の侵略的外来種ワースト100	
侵入・定着の状況		
自然分布域	東アフリカ	
県内初報告	不明	
県内への侵入の経緯	食用で導入、園芸植物に付着	
県内の侵入分布	奄美群島	
全国の侵入分布	小笠原諸島、沖縄島、奄美群島、宮古島、八重山諸島	
生態学的特性		
生態	食性は雑食性で、落ち葉や生葉、動物の死骸、菌類などを食べる。基本的に夜行性。乾燥耐性が極めて強い。	
形態	殻高15cm以上に達する陸産貝類。 殻色は普通赤褐色で縦に黄色の縞模様が入るが、環境により色彩変異がある。	
繁殖形態	年間を通して、気温20℃以上では100から1,000個の卵を約10日間周期で年何回も産卵する。繁殖力が高い。雌雄同体だが自家受精できない。	
生息環境	亜熱帯～温帯の畑地に隣接した草むらや林縁の藪など。	
特記事項	植物防疫法における検疫有害動植物である。 検疫有害動植物:まん延した場合に有用な植物に損害を与えるおそれがある有害動植物	

2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①固有陸産貝類との競合。 ②野菜などの農作物への被害。 ③寄生虫の感染(広東住血線虫)
県内で特に予想される被害	県内の固有陸産貝類との競合。野菜などの農作物への被害。
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①固有陸産貝類の捕食。 ②食用で導入。園芸植物に付着。
3 対策	
アフリカマイマイを見つけたら	奄美群島以外には定着していないと考えられています。もし、奄美群島以外で見かけたら、国の植物防疫所、病害虫防除所、各市町村にご連絡下さい。
見分け方	殻高15cm以上に達する陸産貝類であり、アフリカマイマイの大きさと類似する陸産貝類はいない。
見かけやすい場所・時間	基本的に夜行性で、畑地に隣接した草むらや林縁の藪などに生息する。
防除方法	拾い取りや林縁部などを狙ったメタアルデヒド剤など薬剤の散布などによる集中的防除など。
防除の取組事例	沖縄県では、5月～7月にかけて、そ菜類などの栽培ほ場及びその周辺地域を対象に、なめくじ駆除剤(メタアルデヒド3.2～3.5%)をヘクタール当たり7kgの基準で2回散布し、防除を行っている。 東京都では、母島を中心に、農地周りにおける薬剤(メタアルデヒド剤)による一斉防除、農業地域内の都道や農道周辺で、拾い取りによる防除を実施を実施している。
その他	—
参考資料・参考URL	国立研究開発法人国立環境研究所 侵入生物データベース https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/70250.html 財団法人自然環境研究センター(2008)日本の外来生物。平凡社。東京 Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会 http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/ 沖縄県 病害虫防除技術センター アフリカマイマイの防除 http://www.pref.okinawa.jp/mibae/maimai/ 東京都小笠原支庁 アフリカマイマイ等指定病害虫防除 http://www.soumu.metro.tokyo.jp/07ogasawara/guidance/industry_bug.html